

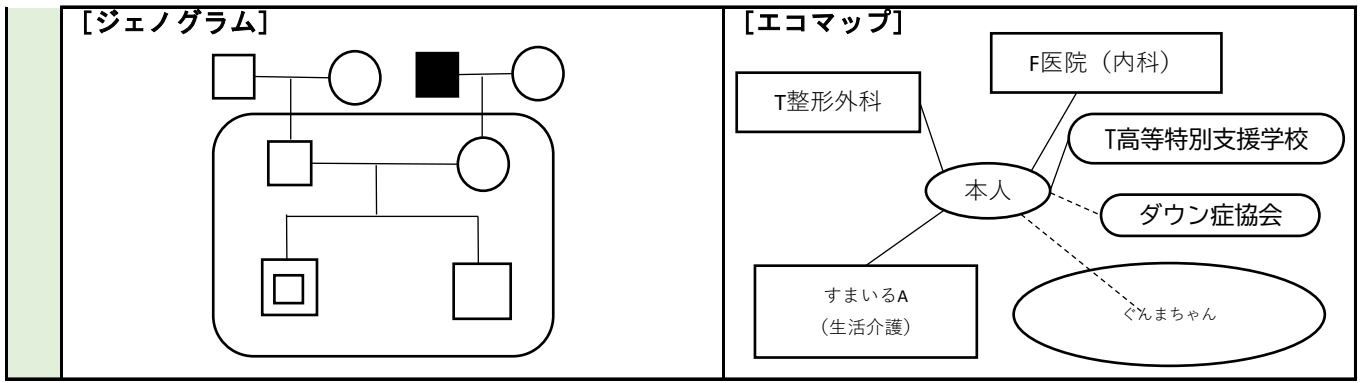
アセスメント票

ふりがな	たかはし みか	性別	女性	住所	GけんhしEまち
氏名	高橋 みか	性別	女性	住所	G県h市E町
生年月日		18 歳	連絡先		
本人の要望・希望する暮らし、困っていること・解決したいこと			家族の要望・希望する暮らし、困っていること・解決したいこと		
「楽しく過ごしたい」 「みんなと仲良くしたい」 「クッキーづくりをしたい」			「本人が楽しく過ごせるようにしてほしい」「体重増加が気になる」「困ったことがあったらSOSを出せるようになる」とい い」「休日に自宅以外で過ごせる場所があるといい」（母）		

生活状況（普段の1日の流れ） ※いくつかの1日の生活があれば、別紙に記入

【平日】		【休日】		【その他特記事項】
本人	介護者	本人	介護者	
6	就寝	就寝	就寝	左記に書ききれないこと、月単位の予定など 毎週土曜日午前：整形外科にてリハビリ
	起床・朝食・身支度	起床・朝食・身支度	起床・朝食・身支度	
	家事等	家事等	家事等	
9	生活介護事業所	仕事（パート職員）	自由過ごす	
	生活介護事業所	仕事（パート職員）	自由過ごす	
	生活介護事業所	仕事（パート職員）	自由過ごす	
12	生活介護事業所	仕事（パート職員）	自由過ごす	
	生活介護事業所	仕事（パート職員）	自由過ごす	
15	生活介護事業所	家事等	自由過ごす	
	自由過ごす	家事等	自由過ごす	
	自由過ごす	家事等	自由過ごす	
18	入浴	家事等	自由過ごす	
	夕食	入浴	家事等	
	自由過ごす	入浴	夕食	
21	自由過ごす	家事等	自由過ごす	
	就寝	家事等	自由過ごす	
24	就寝	就寝	就寝	
	就寝	就寝	就寝	
3	就寝	就寝	就寝	
	就寝	就寝	就寝	

本人の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・同市内にて出生 ・出生時に医師から「ダウン症」の検査を進めらる。その後「ダウン症」であることが分かる。・その後、保健師に相談したりアドバイスを受ける。・地域の療育支援に参加する。・県ダウン症協会に入る。 ・A保育園に通園。なかなかお友達と過ごせず、保育士と1対1で過ごすことが多かった。 ・就学前健診で特別支援学校を薦められるが、両親の希望で小学校は普通学校、支援級に在籍。 ・B小学校：なかなか落ち着けず動き回ってしまうことが多かった。 勉強はあまり好きではなかった様子。次第に友達ができ楽しく過ごす姿が見られる。 ・C中学校：マイペースなところがあり自分の好きな事は、集中して行うことができることがあった。 運動会のダンスは楽しそうに踊っていた。 音楽も好きであった様子。 絵を書くことも好きで一度だけ市の作品展で佳作を受賞した。 ・放課後サービスを利用開始 週5日 ・T高等部特別支援学校：友達との関係も良好で卓球部でも頑張っていた。 ・2年の夏に怪我をする。 	医療の状況
生活歴（病歴含む）		
		<ul style="list-style-type: none"> ・F医院（内科他）…幼少期からのかかりつけ医。定期受診等はなく、体調不良時や予防接種の際に受診する。 ・T整形外科…毎週土曜日に一度、リハビリをおこなっている。



利用者の状況（行の高さは適宜調整してかまわない。）

項目	状況・意思		支援者の気づき
	現在の状況	本人の希望や困っていること	記入者・支援者（専門的アセスメントを含む）

1 生活基盤・日常生活に関する領域

住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・一戸建ての持ち家 ・自身の部屋もある ・閑静な住宅地にあり、歩いて行けるところにコンビニ、スーパーがある。 ・バス停も近く、市外へのアクセスもよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人は現在の生活を気に入っており、変化を望んではない様子が伺える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境については現状を維持し、サービス利用や社会参加の際も現状を起点とするのがよいと思われる。 ・家庭的にも家族が仲良しで本人に対して理解があり協力的である。
経済環境	<ul style="list-style-type: none"> ・父親は、勤続20年以上で安定した収入がある。 ・母親もパートで働いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害基礎年金は受給したいと考えている。（母） 	

2 社会参加に関する領域（教育、就労を含む）

趣味・旅行・レクリエーション	<ul style="list-style-type: none"> ・家族で買い物や旅行に出かけている。 ・また、時々ダウン症協会の行事に参加して楽しく過ごしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・また家族で出かけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族も協力的で本人のために色々楽しい経験がたまるようになってきた。 本人の明るい性格を活かし楽しさを感じながら経験できることは今後も必要であると考える。 ・4月から社会人となる姉との関係でも今後変化がみられるかもしれない。 ・両親の親も高齢化から介護が必要になり本人への関係性を持つ時間が減ることもあるかもしれない。
当事者団体の活動	ダウン症協会		
学校・保育所・幼稚園での様子（児）	<ul style="list-style-type: none"> 明るく楽しく過ごせていた。 学校を休むことはほとんどなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は楽しかった。 	
就労（実習等）	<ul style="list-style-type: none"> 生活介護事業所 就労継続支援（B型）事業所 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習は大変だったけど楽しかった。 	

3 コミュニケーションや意思決定、社会生活技能に関する領域

コミュニケーション (意思表示、意思決定、伝達の理解)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意思是表明できる。 ・ 意思決定もできると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難しいと分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人は分かっているようにしているが、どこまで理解しているかは分からない。 ・ 意思の表明は、はっきりしていると思う
コミュニケーションツールの使用 (電話、パソコン等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で電話をかけることは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のスマホが欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単な言葉が伝わる。 ・ 文章は理解が難しいように思う。 ・ 母親の電話で父親や姉には電話ができる
対人関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常に愛想が良い。 ・ 挨拶や返事もしっかりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰とでも仲良くしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の明るい性格もあり誰とでも仲良くできる。 ・ 人との距離感が分からず、行き過ぎてしまうことがある。
屋外移動やその手段 (長距離、遠距離)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 怪我前は自転車も乗っていた。 ・ 市バスを利用することもできていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 足が悪いから 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 怪我のことが不安にあるだけで市バスは、また使えるようになると思う。 ・ 3輪などの自転車であれば乗れるのではないかと思う。
金銭管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ お金に関心なく、管理は母がしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お金は欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、経験を積むことである程度は、自分で買い物を楽しめるのではないか。

4 日常生活に関する領域

身辺のこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身辺のことは母が助言し手伝っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分ではできていると思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝え方と習慣化でできることも増えていくように思う。
調理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母親のそばでアドバイスがあれば手伝いが行える。継続性はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分ではできていると思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ レンジで温めることはできると思う。 ・ お湯も電気ケトルを使うことが可能であると思う。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好き嫌いが多い。食わず嫌いなところもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お菓子やジュースは、大好きな様子。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好きなものは食べ過ぎてしまう傾向がある。
入浴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立しているが確認は必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分ではできていると思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗い方を伝え経験を重ねることで自立ができるのではないか。
清掃・整理整頓	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分ではやろうとしないので、母が掃除している。声をかければ手伝いはする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分ではできていると思っているが片付けはめんどくさいと話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校での掃除はできていたので、ある程度は一人でできるようになると思われる。
洗濯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母親が手伝わせることで一応干したり、取り込んだり、たたんだりすることはできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母親がやってくれると思っている。 ・ 自分の役割ではないと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗濯機を操作することはできると思うが、干すことは難しいのではないか。 ・ それなりにたたむことや種類別に仕分けることはできている。
買い物	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンビニや本屋などよく行く店ではお金を渡せばレジで買い物ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お金の種類は分かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の好きなものは選べるので、経験を積むことで「欲しいものを手に入れる」ことを関連付けて伝えれば「お金」に対する興味はわくように思う。

5 健康に関する領域

体力・健康状態	・以前は体を動かすことは好きであった。健康状態は良好。	・怪我以降は、膝を気にして最近身体を動かすことがなくなった。	・高等学校時代は卓球部で活動していた。 ・今後も楽しく卓球をすることはできるのではないか。
医療機関利用状況	・整形外科にリハビリ通院 ・健康は良好・服薬なし	・左足が悪いと言っている	
医療的ケア			

6 家族支援に関する領域 (適宜加除する)

家族・介護者の状況	・主たる介護者は母だが、父も熱心で協力的。 姉との関係も良好。	・家族は、大好き。 ・いつも一緒にいたい	・母親は、これからのことを心配している様子。 ・本人のわがままに付き合うようなところもある。 ・どこまで本人に伝えられるのか不安もあるの
子育て			

7 障害児に関する領域 (適宜加除する)

好きなこと			
嫌いなこと			
家族の障害理解			

対応者所見のまとめ

*演習の都合上記載していません